

檜山の研究活動

研修部長 せたな町立瀬棚小学校

校長 矢 戸 了

1 はじめに

檜山校長会は、管内7町の小学校26校、中学校13校で構成されている。

今年度は、昨年度策定した第10次4か年研究計画の成果を生かし、各町校長会の組織的、継続的な共同研究体制を強化し、各学校、各町校長会の教育推進や研究の還流を図り、管内教育の充実発展に努めている。



2 研究計画

(1) 研究主題

「ふるさと檜山の地で、自己実現に向けて夢に挑戦する児童生徒の育成」
～児童生徒に生きる力を育み、地域に信頼される学校づくりの推進～

(2) 研究分野・研究課題・研究の視点一覧

研究分野	研究課題	研究の視点	担当町
		キーワード	
学校経営	○組織マネジメントを生かした学校経営と校長の在り方	①経営ビジョンの浸透を図る学校経営 経営理念，重点目標，学校評価，学校関係者評価等	江差町
		②組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営 経営参画意識の向上，学校職員評価制度等	上ノ国町
		③家庭・地域社会・異校種等との連携を図る学校経営 説明責任，結果責任，地域に根ざした教育活動等	奥尻町
教育課程	○檜山の特色を生かした創意工夫ある教育課程と校長の在り方	①確かな学力の向上を目指す教育課程 授業改善，学校改善プラン，数値目標等	せたな町
		②豊かな人間性と感性を育む教育課程 特色ある教育活動，体験的な活動，道德教育等	今金町
		③児童・生徒の個性や特性を生かす教育課程 キャリア教育，放課後学習，体力の向上等	
生徒指導	○児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と校長の在り方	①望ましい人間関係づくりを図る生徒指導 アセス，ほっと等の実施やコミュニケーション活動	厚沢部町
		②自己指導能力の育成を目指す生徒指導 自己選択，自己決定，自立への支援等	乙部町
		③学校の教育活動全体を通して行う生徒指導 指導体制の確立，家庭・地域・関係機関との連携等	

(3) 研究方法

研究は4か年計画とし、研究分野を「学校経営」「教育課程」「生徒指導」の3分野として、各町校長会は組織的・継続的な共同研究を推進する。

3 研究活動

檜山校長会教育研究今金大会の概要

【研究主題】 ふるさと檜山の地で、自己実現に向けて夢に挑戦する児童生徒の育成
～児童生徒に生きる力を育み、地域に信頼される学校づくりの推進～

○ 期 日 平成26年10月2日（木）・3日（金）

9:00～9:15 10:00 11:00 11:40 12:40 13:50 15:30 17:00

<1日目>	受付	開会式	講 話	小中合同部会	昼食	全体会	法制部会	小中別部会
-------	----	-----	-----	--------	----	-----	------	-------

8:45～9:00 11:40 12:10

<2日目>	受付	分科会	閉会式
-------	----	-----	-----

◇ 小中合同部会

○ 提言題 「自立や社会参加の実現に向けた特別支援教育の推進と校長の在り方」

○ 提言者 今金町立今金小学校長 谷口 光伸

◇ 法制部会

○ 提言題 「学校の危機管理について ～教育委員会通知から考える～」

○ 提言者 江差町立江差北中学校長 野村 誠

◇ 小学校部会

○ 提言題 「土曜授業を試行して ～5ヶ月間の検証～」

○ 提言者 奥尻町立青苗小学校長 石澤 修介

◇ 中学校部会

○ 提言題 「確かな学力」を目指した学校経営

○ 提言者 せたな町立大成中学校長 松原 真一

◇ 第1分科会

○ 提言題 「組織マネジメント機能を生かし、
組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営と校長の在り方」

○ 提言者 上ノ国町立湯ノ岱小学校長 小助川 浩

○ 討議の柱

- ・ 組織マネジメント機能を生かし経営ビジョンの浸透をどう図るか。
- ・ 教職員の年齢層に応じた資質向上をどう図るか。

◇ 第2分科会

○ 提言題 「せたな町の教育活動を生かした教育課程と校長の在り方」

○ 提言者 せたな町立大成中学校長 松原 真一

○ 討議の柱

- ・ 「確かな学力」に向けての教育課程の編成と課題
- ・ 地域の特徴を生かした教育課程の現状と校長の関わり

◇ 第3分科会

○ 提言題 「校長から始める生徒指導の実践」

○ 提言者 乙部町立栄浜小学校長 白石 真嗣

○ 討議の柱

- ・ 校長が積極的に関わる生徒指導の実践
- ・ 職員の生徒指導力をどのように育てるか



4 おわりに

今年度の研究大会は、今金町で開催した。開催地校長会の今金町校長会は3名で構成されており、檜山管内でも一番少人数の町校長会である。このような状況の中、温かくバックアップしていただいた開催町の今金町教育委員会に厚く感謝している。檜山校長会は今後とも会員の減少が予想されるが、少人数の良さを生かしながら研修に努めていく所存である。